

サヤトレLSレポート

2016 年 7 月 9 日発行



サヤトレ LS レポートとは

サヤトレ LS レポートは、投資分析システムのサヤトレ LS において運営にて検証分析を行い、投資結果及び考察をお伝えしサヤトレ LS のご活用方法を会員様の投資にお役立ていただくための投資レポートです。

「サヤトレ LS をどう投資に活用していいかわからない？」

上記のようなお客様を解決するために投資の実例を用いながら損益合成チャートの使い方や投資戦略の解説を行ってまいります。

運営が検証する投資結果と考察が会員様のお役に立てば幸いです。

また本レポートは定期発行しているので直近ご入会された会員様は、サヤトレ LS のマイページより過去のレポートを読む事も可能です。

本レポートの末尾に「新規会員様向け」の復習としてロングショート戦略の基本的な戦略の解説も記載しておりますのでご参考にしてください。

■サヤトレ LS のマイページ

<https://sayatrade.com/mypage/>

本レポートは投資を推奨するものではなく、お客様ご自身の投資結果において、弊社はいかなる責任も取ることは出来ません。

投資における決断結果は投資家ご自身の自己責任である事をご理解ご認識よろしく申し上げます。

投資検証の環境について

■ 運用資金：約 100 万円

FX 口座（約 25 万円）

株式&先物口座（約 75 万円）

■ 運用開始日：2016 年 2 月 12 日～

■ FX 取引会社：ヒロセ通商

⇒ <http://investars.jp/about/lionfx.html>

■ 株式&先物取引会社：ライブスター証券

⇒ <http://www.live-sec.co.jp/>

個人投資家が実践出来る小額資金として 100 万円での検証を行なっております。

投資は、運用資金が多いほど有利となります。

運用資金 100 万円の資金でもプロ投資家が行なう投資戦略を
個人投資家でも実践出来ることをイメージいただければ幸いです。

検証中の FX ロングショート

【FX ロングショート】 2 月 12 日仕掛け

- 豪ドル/円 買い 1 万通貨 約定価格 80.128
- NZ ドル/円 買い 1 万通貨 約定価格 75.159
- 加ドル/円 売り 2 万通貨 約定価格 80.851

【直近の評価損益スワップ込み】

- 豪ドル/円 買い -33,920 円
- NZ ドル/円 買い -10,040 円
- 加ドル/円 売り +68,098 円

■ 合計損益 +24,138 円（内スワップ収益+8,558 円）

【損切り基準のルール】

直近 1 年間の下値抵抗線を下回ったら損切り

【利益確定基準のルール】

過去 5 年の週足データの高値付近にて決済

【直近 1 年の損益合成チャート】



■ポートフォリオの考察

FX ロングショートは、高金利通貨の豪ドル/円と NZ ドル/円を 1 万ずつ買い
その相場変動をヘッジする目的として加ドル/円を 2 万売りヘッジをしています。

先月のレポートから時系列をお読みいただいている会員様であれば、分かりやすいですが先月のレポートでお伝えしていた下落トレンドからの転換で上昇トレンドは続き、保有している合計損益はプラスに転換しました。

先月イギリスの EU 離脱にて全ての外貨が大きく円高となり為替市場は大荒れで多くの投資家が損した状況でした。

しかし保有しているポートフォリオはしっかりと損益を通算してヘッジが効いて安定した損益チャートで最終的にシナリオ通りの利益となっております。

【直近 5 年の損益合成チャート】



(週足で確認すると定期的な往來のある組み合わせ)

現状の位置は 5 年の週足データを確認すると高値近辺にありますので利益確定を視野にいれながら来週以降は、値動きに注意してまいります。

証拠金 30 万円で +24,138 円の利益と考えると利回りは 8%を超えます。

また過去繰り返しお伝えしておりますが、今回の仕掛けは本レポート開始のスケジュールの関係上、仕掛けのタイミングを計らずに適当に行ないました。

実際に仕掛けを行なう際には、RSI が 30%を下回ったタイミングからの反転した際に取引するなどタイミングを計るともっと上手く利益が取れたと思います。

この組み合わせは、定期的なサヤの往來がありスワップもプラスになるので初心者の方でも実践出来るオススメの組み合わせと言えるでしょう。

検証中の株式ロングショート（マーケットニュートラル戦略）

【マーケットニュートラル戦略】6月17日仕掛け

【売り】	225 先物ミニ（9月限）	1 枚	約定価格 1,565 円
【買い】	4704 トレンドマイクロ	100 株	約定価格 3,615 円
【買い】	4506 大日本住友製薬	200 株	約定価格 1,661 円
【買い】	2432 ディー・エヌ・エー	200 株	約定価格 2,245 円
【買い】	5332 TOTO	100 株	約定価格 4,002 円

【6月17日～7月9日の損益状況と騰落率】

【売り】	225 先物ミニ（9月限）	+ 52,500 円（- 3.35%）
【買い】	4704 トレンドマイクロ	+ 1,500 円（+ 0.41%）
【買い】	4506 大日本住友製薬	+ 42,600 円（+ 12.82%）
【買い】	2432 ディー・エヌ・エー	+ 39,400 円（+ 8.78%）
【買い】	5332 TOTO	- 10,200 円（- 2.55%）

合計損益 = + 125,800 円

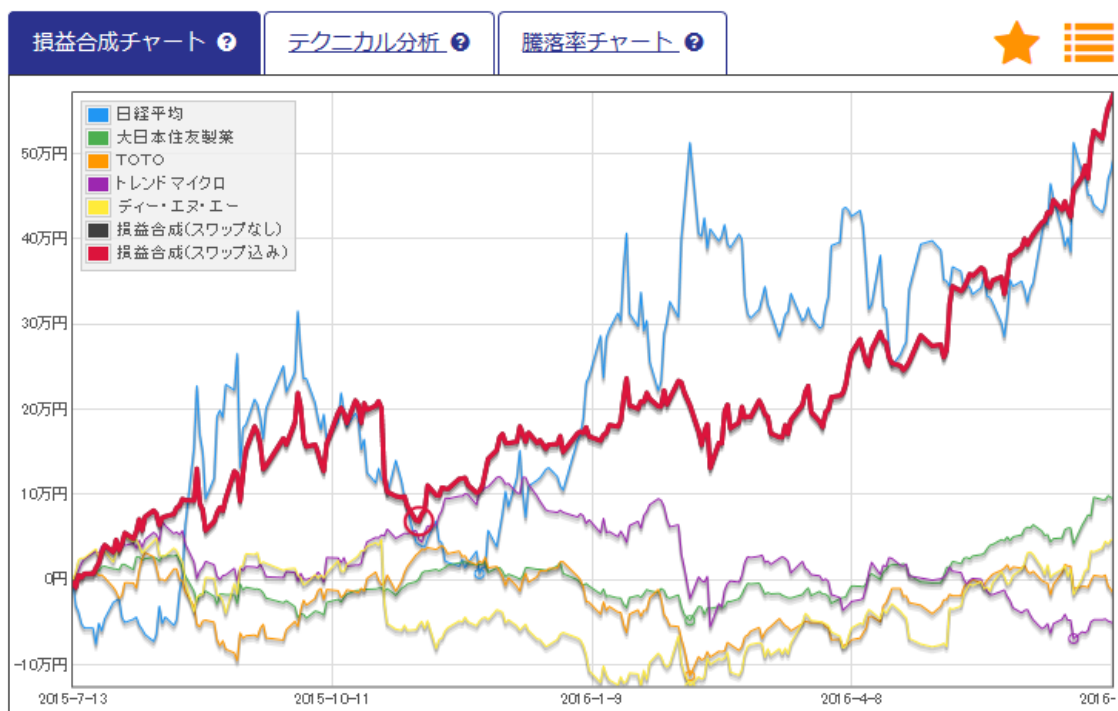
【決済基準のルール】

個別銘柄の1ヶ月間のパフォーマンスを日経平均との騰落率を比較

アウトパフォームの場合：引き続き継続して保有

アンダーパフォームの場合：損切りして他の個別銘柄と交換（- 10%）

【直近 1 年の損益合成チャート】



■ ポートフォリオの考察

6月17日より仕掛けを行いましたマーケットニュートラル戦略ですが会員限定メルマガ「サヤ取り通信」でも途中経過をお伝えしている通り非常に好調です。

6月30日に買い銘柄の1つアルプス電気のパフォーマンスが日経平均と比較して-10%ほどアンダーパフォームと大きく下回っていたので損切り決済して(-22,800円)現在は、買い4銘柄で保有しております。

運用当初は、個別銘柄は5銘柄の予定でしたが日経平均の下落と個別株の上昇もあり投資保有比率を50:50に調整したい事も考えて現状、個別銘柄は4銘柄としております。(今後は4~5銘柄と調整保有)

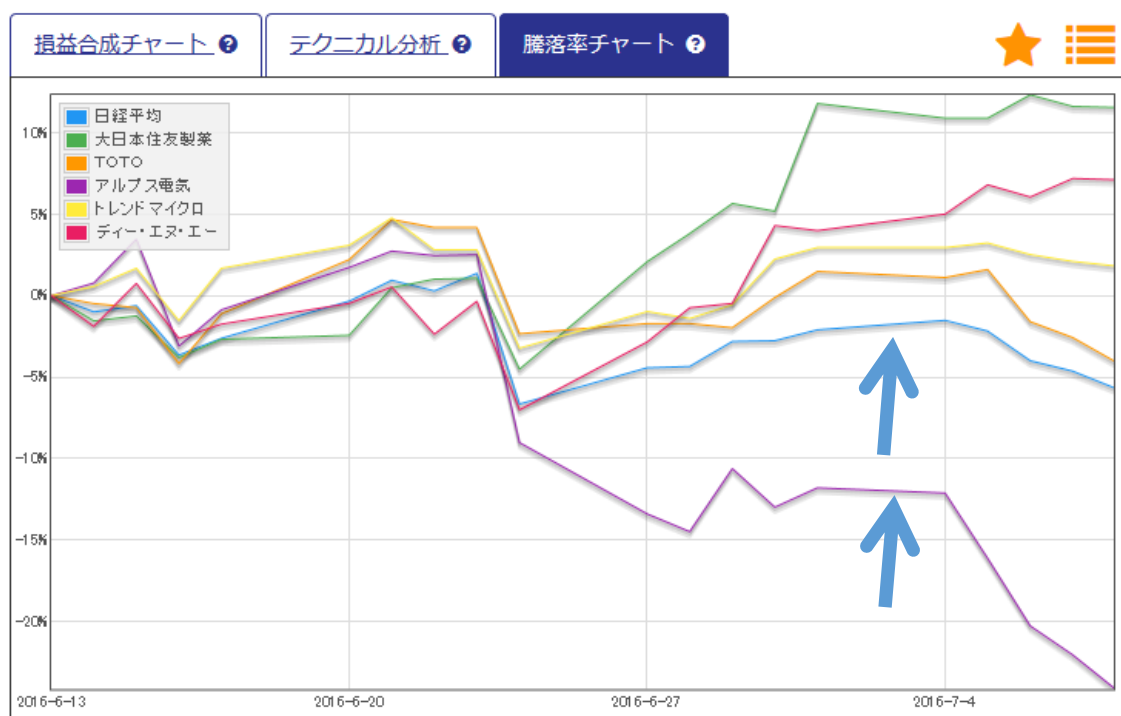
日経平均との騰落を比較した際にアルプス電気のパフォーマンスが悪かったの
で6月30日に株価 1,950 円で損切りを行いました。

もし仮に損切りしていない場合は 1,664 円まで下落して傷を広げていたので損
切りをして正解だったと考えております。

アルプス電気の選定条件は、「売買高増加」ですが売買高増加銘柄は、人気があ
って注目されているケースと売られて売買が増加している2パターンあります。

少しギャンブル性の高い選定条件となり、今回は、負けてしまいましたが今後
注目が集まる銘柄の初動の上昇を取れるような選定条件に調整をかけつつ検証
を継続してまいります。

【直近 1 ヶ月の騰落率比較チャート】



直近 1 ヶ月の騰落率比較チャートを確認すると分かりやすいですが水色の日経平均の推移をアルプス電気は大きく下回ってアンダーパフォームしています。

その他の 4 銘柄は日経平均を上回ってアウトパフォームです。

今後も個別銘柄は、日経平均の騰落と比較してパフォーマンスの良い銘柄（アウトパフォーム）は引き続き継続して保有、成績が悪い銘柄（アンダーパフォーム）は損切りというルールで運用の検証を継続してまいります。

現状株式と・先物口座には運用資金をして約 80 万円ほど入れており 80 万円で 1 ヶ月保有せずに安定して 10 万円以上（利回り 12.88%）の利益が出ている現状の成績は、想定していないほどの好調な投資結果です。

客観的に考えて現在の好調な成績が今後も継続するとは考えておりません。

しかし暴落でも安心した損益結果となり、マーケットニュートラルのような両建て戦略でも短期的に大きな利益が出る事が証明された良い成功事例とお考えいただければ幸いです。

【マーケットニュートラルの取引ルール】

■ インデックス指数の先物を売り（ショート）

225 先物ミニ（9 月限）を 1 枚売り

（投資金額は約 150～160 万円分のショートとなる）

■ 好業績決算の個別株を 4 銘柄に分散して買い（ロング）

銘柄 1：RSI が割安な銘柄（詳細条件は後述）

銘柄 2：RSI が割高な銘柄（詳細条件は後述）

銘柄 3：売買代金増加銘柄（詳細条件は後述）（**現在損切り中**）

銘柄 4：一目均衡雲抜け銘柄（詳細条件は後述）

銘柄 5：裁量判断の銘柄（詳細条件は後述）

$(150 \sim 160 \text{ 万円}) \div 4 = \text{約 } 38 \sim 40 \text{ 万円}$

4 銘柄に分散投資を行うので 1 銘柄の投資金額は 38～40 万円

単元株の問題で投資金額を全て等しくする事は出来ませんが

出来る限り 38～40 万円に近づくように株数の調整を行なっております。

■ インデックス指数と個別銘柄の売り買い保有割合は 50：50

■ 個別銘柄の 1 ヶ月間のパフォーマンスをインデックス指数と比較

アウトパフォームの場合：引き続き保有

アンダーパフォームの場合：損切りして他の個別銘柄と交換（－10%）

個別銘柄選定のルール

マーケットニュートラル戦略に投資している個別銘柄は、**企業業績が良く ROE が高い銘柄（効率良く利益を出している）をテクニカル指標に分けてスクリーニングを行い抽出結果の中から裁量判断で選定を行っております。**

一定の条件で自動的に銘柄を間引いた後に残された銘柄の中から選定しているので「システム」と「裁量」の両方を活用した銘柄選定とイメージください。

スクリーニングソフトは、楽天証券のスーパースクリーナーを使っています。

楽天証券で口座を保有していると無料で利用する事が可能です。

■ 楽天証券

<http://investars.jp/about/rakuten.html>

スクリーニング条件については、検証結果を参考にして調整を行ない変更していきませんが現状のスクリーニングの条件を下記に記載させていただきます。

基本条件にプラスして、4 銘柄異なるテクニカル条件加えて選定しております。

スクリーニング条件についてはユーザーご自身で設定いただく事をお勧めしますがスクリーニング条件の例としてご参考にしていただければ幸いです。

【スクリーニングの基本条件】

- 投資対象：日経平均採用の 225 銘柄
- ROE(自己資本利益率)：5%以上（効率良く儲けている企業）
- 売上高変化率：0%以上（前年度から売上高が伸びている企業）
- 売上高営業利益率：5%以上（利益率の高いビジネスの企業）

【基本条件にプラスして選定するテクニカル条件】

- 銘柄 1：売られ過ぎで割安な銘柄を選定（逆張り）

RSI（過去 9 週）30 以下かつ日経平均の騰落率を 6 ヶ月前よりも下回る

【買い】 4704 トレンドマイクロ 100 株 約定価格 3,615 円

- 銘柄 2：買われ過ぎで割高な銘柄を選定（順張り）

RSI（過去 9 週）60 以上かつ日経平均の騰落率を 6 ヶ月前よりも上回る

【買い】 4506 大日本住友製薬 200 株 約定価格 1,661 円

- 銘柄 3：売買代金増加銘柄（直近人気・注目度の高い銘柄）

売買代金増加率が 20 営業日前と比較して 2 倍以上
（損切り中）

- 銘柄 4：一目均衡雲抜け銘柄

一目均衡表の雲を上抜けている上昇トレンドの銘柄

【買い】 2432 ディー・エヌ・エー 200 株 約定価格 2,245 円

- 銘柄 5：完全な裁量判断による銘柄

銘柄選びのセンスを磨く目的に選定

【買い】 5332 TOTO 100 株 約定価格 4,002 円

今回のまとめ

2月からスタートした検証ですが現状、イギリスショックの暴落も全く関係なく上手くヘッジが効いて安定した非常に素晴らしい運用結果となっております。

上記の公開している銘柄以外にも運営側にて日々検証と分析を行っております。

引き続き試行錯誤を行いながらも途中経過を会員様にご報告しつつ個人投資家が小額でも（最低 100 万円以上）取引可能なロングショート戦略のご提案を行なっていきたい考えです。

サヤ取り・ロングショート・アービトラージなどの両建て売買を活用した投資戦略は、大変魅力的な投資戦略でありながら多くの個人投資家がそのメリットと仕組みを理解しておりません。

また証券会社に勤めている金融機関側のアナリストの立場では個人投資家に空売り（ショート）の推奨が出来ないルールになっています。

両建ての知識はあっても結局のところ空売りの推奨が出来ないので金融機関は、力を入れて両建て売買について個人投資家に解説しないのです。

両建て売買の理論を個人投資家に広める事は、どここの金融機関に所属せず独立系の会社でないと現実的に難しいのが投資業界の実情としてあるのです。

そして両建て売買の理論の解説は出来たとしても実際に個人が実践するには何かしらの計算システム（ツール）と投資ノウハウがない出来ません。

【両建て売買の解説に必要となる要素】

- 金融機関ではない個人投資家の目線
- 両建て売買に関する専門的な金融知識
- 両建て売買に必要な投資分析システムの提供
- 分析システムを活用するための投資テクニック

現状、両建て売買を知らない方がほとんどで実践している投資家は一握です。

大変ニッチな市場ですがサヤ取り投資家であるサヤトレ会員様達にお役に立てる情報を今後も継続して発信してまいりたいと考えております。

会員様からいただく会費についてもシステムの開発費用としてシステムのバージョンアップに使わせていただきますので応援いただけると幸いです。

弊社が提供するサービスや情報が会員様ご自身の投資のヒントとなり資産運用にお役立ていただければ参考になれば大変嬉しく思います。

今後ともどうぞよろしくお願いします。

株式会社サヤトレ代表
増田圭祐

新規会員様への過去情報の復習

本レポートは毎月 1 回以上、定期的に情報を発行しているため直近ご入会いただいた会員様がレポートを読むと内容が難しい部分が多くあるかと思います。

下記に過去に配信したレポートやメルマガの内容で本レポートを理解するために重要な部分をまとめております。

新規会員様は、基本的なロングショート戦略の考え方について
既存の会員様も復習としてお読みいただければ幸いです。

またサヤトレ LS 会員に発行しているレポートの一部はサヤトレ LS にログインしていただきマイページから過去のレポートを確認することも可能です。

■ サヤトレ LS のマイページ

<https://sayatrade.com/mypage/>

ロングショート戦略は上級者向けの投資戦略です。

サヤトレ LS 会員様で分からない点がございましたら
お気軽に運営までお問い合わせくださいませ。

■ サヤトレFX運営へのお問い合わせ

<https://sayatrade.com/contact/>

【ロングショート戦略とは】

ロングショート戦略とは、将来上昇が期待される銘柄を買い（ロング）下落が期待される銘柄を売る（ショート）両建て投資戦略です。

■投資対象を「買う」＝「ロング」

■投資対象を「売る」＝「ショート」

ロングショート戦略は、相場が上昇・下落どちらに動いても市場の変動に左右されない安定した運用が可能です。

一般的には、割安な銘柄を買い（ロング）・割高な銘柄を売る（ショート）構成を基本としますがロングショート戦略は、様々な応用が可能です。

しかし基本構成とは反対に上昇トレンドの銘柄を買い（ロング）下落トレンドの銘柄を売る（ショート）事で利益を狙う事も可能です。

何を買って・何を売るかの選定条件がロングショート戦略では重要です。

買い保有だけの投資の場合、どれだけ魅力的な銘柄に投資していたとしても金融市場全体が下落相場の際には、魅力的な銘柄も一緒に値下がりして損失となってしまう。

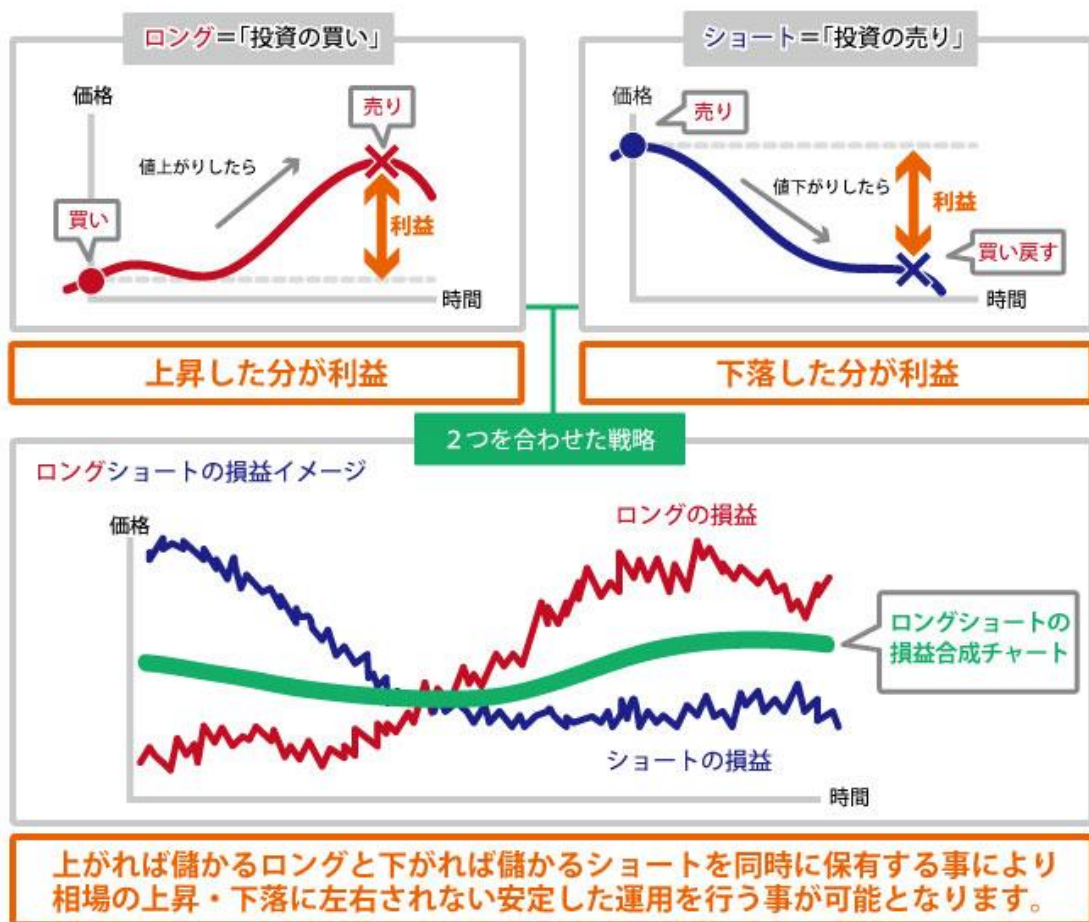
上がれば儲かるロングと下がれば儲かるショートを同時に保有する事によって、日々上下変動する金融市場の波を抑えながら安定して利益を狙うのがロングショート戦略の仕組みです。

- 株価が上がると予想する銘柄を買い（ロング）
- 株価が下落すると予想する銘柄を空売り（ショート）

ロングショート戦略は、個人投資家には馴染みのないニッチな投資戦略ですが海外のプロ投資家の多くが基本戦略として使う伝統的な投資戦略です。

両建て売買の理論は、投資の世界において非常に効果が高くその理論を個人投資家が理解すると投資戦略の幅も大きく広がることでしょう。

■ ロングショート戦略のイメージ図



【マーケットニュートラル戦略とは】

投資の世界では相場の上下を読む事は分からずとも日経平均のパフォーマンスを上回る銘柄（もしくは下回る銘柄）を探すことが出来るのであれば利益を狙う事が可能です。

【マーケットニュートラル戦略のイメージ】

【**売り**】 日経平均 保有比率 50%

【**買い**】 個別銘柄 A 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 B 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 C 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 D 保有比率 10%

【**買い**】 個別銘柄 E 保有比率 10%

相場全体の値動きとなるインデックス指数（日経平均やTOPIX）を売り
投資家が選定した個別銘柄に分散して仕掛けを行なっています。

上記のように日経平均やTOPIXのようなインデックス指数を売り
個別株の値動きから β （ベータ）と呼ばれる株式市場全体の値動きを除外します。

個別銘柄の値動きから β （ベータ）を除外した部分を α （アルファ）と呼び
マーケットニュートラルは α （アルファ）を積み上げて利益を狙う投資戦略です。

■ 個別銘柄の値動き $-\beta$ （ベータ） $= \alpha$ （アルファ）

マーケットニュートラルで運用を行なっている際にリーマンショックのように金融市場が暴落して 50%も大きく下落したとしましょう。

買い保有の 5 銘柄は、損失となり 50%程度大きく下落している事でしょう。

しかし空売りしている日経平均は 50%程度の大きな利益になっております。

損失と利益が相殺してヘッジされ安定した投資結果となります。

つまり個別銘柄を買い、インデックス指数を売る事によって個別銘柄の変動から暴落という全体の上下変動を差し引いたイメージの投資結果になるのです。

そして暴落しても選定した個別株の 5 銘柄の騰落率（パフォーマンス）が日経平均の騰落率を上回っていれば（アウトパフォーム）利益になります。

極端な話 1 か月に日経平均が半分（- 50%）に下落したとしても保有銘柄の騰落率が - 49%の場合は、損益の合計は利益になります。

市場全体の上下変動は損益に関係ありません。

この考え方がマーケットニュートラルでは大切であり
全ての両建て売買戦略を理解する上に重要な考え方となります。

株式会社サヤトレの WEB サービス

- サヤ取り投資ペア検索ツール 『サヤトレ』

<https://investars.jp/>

- ロングショート戦略分析システム 『サヤトレ LS』

<https://sayatrade.com/>

- サヤ取り投資ペアランキングサイト 『サヤ取りランク』

<https://sayatori.net/>

- 一緒にチャートで会話が出来る！ 『マーケットライブ』

<https://market-live.jp/>

- サヤ取り投資と経済が分かるブログ

<http://sayatore.com/blog/>

<デ ィ ス ク レ ー マ ー 及 び リ ス ク 事 項 説 明>

投資判断の材料・情報提供を目的としたものであり投資の勧誘を目的としたものではありません。最終的な投資の判断は自己責任にて行ってください。また、各種情報の内容については万全を期しておりますが、その内容・有益性を保証するものではありません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当方および本情報提供者は一切の責任を負いかねますので御了承ください。